様式第２号（第６条関係）

認定団体登録事業計画書

事業概要	子どもや親子を対象に、土や木、絵の具、自然素材などに触れながら、五感を使って楽しむアート体験や創作活動を実施する。 地域の拠点を活用した定期的なアート活動に加え、年６回程度の体験型アートイベントや夏季のアートマルシェを開催し、子どもたちの豊かな感性や創造力を育むとともに、親子や地域住民がつながる居場所づくりを進める。 さらに、これらの活動を基盤として、継続的に創作活動に取り組めるアートスタジオの開設を目指す。
事業目的	子どもたちが土や木、絵の具などさまざまな自然や素材に触れながら、五感を使って自由に表現し、「やってみたい」「楽しかった」「またやりたい」と思える体験を積み重ねる機会を提供することを目的とする。 継続的なアート活動を通して、子どもたちが自分の可能性や成長を実感し、「もっとやってみたい」「自分ってすごいやん！」という自己肯定感や挑戦する気持ちを育む。また、親子や地域住民が気軽につながれる居場所をつくり、将来的には継続して創作活動に取り組めるアートスタジオへと発展させることを目指す。
事業実施に至る動機・背景	2000 年代頃から急激に増加した共働き世帯や核家族化により、子どもたちがリアルな体験に比べ IT 機器を使用したオンラインでの体験に時間使うようになっている。オンライン環境下における弊害として、集中力/思考力の低下、感受性/創造性の欠如が問題となっています。それは、守山市も例外ではなく、特に守山市は交通利便性が高いため市外、県外へ働きに出ている世帯も多く、また、最近では学童に入らない世帯も増えているため、家にひとりで長い時間を過ごす子供が増えている。そんな中、コロナ禍に近所の子どもたちと染物遊びをした際、家庭ではなかなかできない体験に目を輝かせる子どもたちの姿や、「こんな一面があったんだ」とわが子の新たな表情に気付く保護者の姿を目の当たりにしたことが、本活動のきっかけとなった。活動を続ける中で、「失敗すること」に不安を抱える子どもたちがとても多いことに気づき、一方で、五感を使ったアート遊びでは、子どもも保護者も生き生きとした表情を見せ、「またやりたい」という気持ちが育まれていくことを実感した。 その経験から、子どもたちが安心して挑戦し、自分らしく表現できる場を継続的に提供したいと考え、本事業を計画した。
期待される効果	五感を使った多様なアート体験を通して、子どもたちの豊かな感性や創造力、自己表現力を育むとともに、「やってみたい」「できた」という成功体験を積み重ねることで、挑戦する気持ちや自己肯定感の向上が期待される。 また、親子で一緒に参加することで子どもの新たな一面に気付く機会が生まれ、家庭でのコミュニケーションや子育てへの安心感につながる。 さらに、地域の拠点で継続的に活動を行うことで、親子や地域住民が気軽につながれる居場所が生まれ、多世代交流や地域コミュニティの活性化が期待される。
この補助金がなぜ必要なのか	五感を使ったアート体験を継続的に提供するためには、専門性を持つ講師や運営スタッフの確保が欠かせない。しかし、参加しやすい参加費だけでは十分な運営費を賄うことが難しく、継続的な活動を行う上で課題となっている。 本助成金を活用することで、質の高いアート体験を安定して提供するとともに、地域に根差した活動として継続・発展させることができる。また、イベントをきっかけにアートスタジオへとつながる仕組みを整え、将来的には事業収入を確保しながら自立した運営を目指す。

【具体的な活動のスケジュール】

事業実施場所		アートイベント：守山市を中心とした滋賀県内 継続的アート遊び・アートスタジオ：立入町自治会館（白菊会館） アートマルシェ：守山市図書館つながる森（多目的室）
事業の対象者		未就学児から小学生までの子どもとその保護者を主な対象とし、親子や地域住民が交流できる場として広く参加を呼びかける。
月別スケジュール ※初年度のみ	**4月**	継続的アートあそび：毎週水曜日 アートスタジオ：事業計画
	5月	17 日イベント：どろんこドッチ 夏休みアートイベント内容決定 アートスタジオ：事業準備・拠点整備 継続的アートあそび：毎週水曜日
	6月	マルシェ（会場予約・出店者募集開始・広報スタート・チラシ印刷） 夏休みアートあそびイベント（会場予約・広報スタート・） アートスタジオ：事業準備・拠点整備 継続的アートあそび：毎週水曜日
	7月	マルシェ準備 アートスタジオ：事業準備・拠点整備 継続的アートあそび：毎週水曜日
	8月	夏休みイベント マルシェ実施 継続的アートあそび：毎週水曜日
	9月	継続的アートあそび：毎週水曜日
	10 月	継続的アートあそび：毎週水曜日
	11 月	イベント（マルシェ参加） プレアートスタジオ開催 継続的アートあそび：毎週水曜日
	12 月	イベント プレアートスタジオ開催 継続的アートあそび：毎週水曜日
	1月	アートスタジオ始動 継続的アートあそび：毎週水曜日
	2月	イベント アートスタジオ 継続的アートあそび：毎週水曜日
	3月	アートスタジオ 継続的アートあそび：毎週水曜日

【団体全体の計画】

認定期間３年間の展開や計画	１年目	地域の拠点で定期的なアート活動を継続し、親子や地域住民が気軽に参加できる居場所づくりを進める。また、アートスタジオ開設に向けた環境整備や運営体制の構築を行う。
	２年目	定期的なアート活動とアートスタジオの運営を軌道に乗せる。展覧会や作品展示など活動の発信機会を増やし地域とのつながりを広げる。
	３年目	活動内容を充実させ、地域に根差したアート活動として定着を目指す。子どもから大人まで継続して参加できる環境を整える。
認定期間終了後の展開や計画	認定期間中に構築した運営体制を基盤とし、体制を整えた自主財源を活用しながら、継続的な運営を行う。また、地域団体や学校等との連携を広げ、子どもから大人まで誰もが気軽に参加できるアート活動として地域に定着させていく。	

寄付(ふるさと納税)を増やすための工夫	SNS やホームページで活動の様子や子どもたちの成長、作品を継続的に発信し、本事業の魅力を広く知ってもらう。また、アートイベントや展覧会を通して活動を地域に発信するとともに、参加者や地域団体とのつながりを活かし、本事業に共感していただける支援者の輪を広げ、ふるさと納税による寄付につなげる。
当該補助金以外での財源確保の取組み	アートスタジオの会費収入を基盤とし、展覧会や作品展示・販売会、ワークショップなどの自主事業を実施する。また、展覧会会場等に寄付箱を設置するとともに、画材や工作材料などの物資提供も募り、地域の方がさまざまな形で活動を応援できる仕組みづくりに取り組む。
アポールポイント	bochibochi sloth では、作品の完成度ではなく、「やってみたい」という気持ちや、一人ひとりの表現を大切にしている。土や木、絵の具、自然素材などさまざまな素材を使った五感を刺激するアート体験を通して、子どもたちが「できた！」「またやりたい！」という成功体験を積み重ねられる場づくりを行っている。 また、親子や地域住民が気軽に集い、多世代が交流できる居場所づくりを大切にし、イベントをきっかけに継続的な活動へつなげることで、地域に根差したアート文化を育んでいく。

様式第３号（第６条関係）

事業収支予算書

（　令和　９年　４月　１　日から令和 10 年　３　月末まで）

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	豊かな市民活動のまち応援事業	150000 円
事業収入	単発イベント・マルシェ参加費　90,000 円 アートスタジオ会費　360,000 円	450000 円
自己負担金(会費等)		円
その他		円
収入合計	※収入合計=支出合計	600000 円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	■ 構成員（助成金対象外）202,800 円 団体スタッフ労賃 単発イベント：8 時間×6 回×1,300 円 夏休みイベント：9 時間×1,300 円 マルシェ：10 時間×1 回×1,300 円 アートスタジオ：3 時間×30 回×1,300 円 ■ 外部スタッフ（助成金対象） 外部スタッフ労賃：42,900 円 マルシェ補助：1,300 円×3 人×6 時間 イベント補助：1,300 円×1 人×3 時間×5 回 ■イベント講師：10,000 円×4 名=40,000 円 講師準備費：5,000 円×4 名=20,000 円	204,100 円	102,900 円
旅費交通費		円	円
消耗品費	アートスタジオ：47,000 円 単発イベント：18,000 円 夏休みイベント：25,000 円 アートマルシェ：30,000 円	円	120000 円
食糧費および食材費			
印刷製本費	インク代など	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	SNS 発信・郵送費・連絡ツール利用料	円	5000 円
手数料		円	円
保険料	アートイベント	円	10000 円
委託費	チラシ・イベント案内印刷代	円	20000 円
使用料および賃借料	アートスタジオ：5,000 円 × 12 か月 = 60,000 円 単発イベント：3,000 円 × 6 回 = 18,000 円 マルシェ：10,000 円 × 1 回 = 10,000 円 夏休みイベント：10,000 円 × 1 回 = 10,000 円	円	98000 円
備品購入費	アートスタジオ設備投資	円	35000 円
小計		204100 円	395900 円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		600000 円

事業収支予算書

（　令和 10 年　4 月　1　日から令和 11　年　3　月末まで）

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	豊かな市民活動のまち応援事業	150000 円
事業収入	単発イベント・マルシェ参加費　90,000 円 アートスタジオ会費　480,000 円	570000 円
自己負担金(会費等)		円
その他		円
収入合計	※収入合計=支出合計	720000 円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	■ 構成員（助成金対象外） 団体スタッフ労賃 単発イベント：8 時間×８回×1,300 円 夏休みイベント：9 時間×1,300 円 マルシェ：10 時間×1 回×1,300 円 アートスタジオ：3 時間×30 回×1,300 円 ■ 外部スタッフ（助成金対象） 外部スタッフ労賃　102900 円 マルシェ補助：1,300 円×3 人×6 時間 イベント補助：1,300 円×1 人×3 時間×5 回 ■イベント講師：10,000 円×4 名 講師準備費：5,000 円×4 名	224900 円	102900 円
旅費交通費		円	円
消耗品費	アートスタジオ：60,000 円 単発イベント：40,000 円 夏休みイベント：50,000 円 アートマルシェ：50,000 円	円	200000 円
食糧費および食材費			
印刷製本費	インク代など	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	SNS 発信・郵送費・連絡ツール利用料	円	5000 円
手数料		円	円
保険料	アートスタジオ	円	10000 円
委託費	チラシ・イベント案内印刷代	円	20000 円
使用料および賃借料	アートスタジオ：5,000 円×12 か月 単発イベント：3,000 円×9 回 マルシェ：10,000 円×1 回 夏休みイベント：10,000 円×1 回	円	104000 円
備品購入費	アートスタジオ設備投資	円	48200 円
小計		224900 円	495100 円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		720000 円

事業収支予算書

（　令和 11 年　4 月　1　日から令和 12　年　3　月末まで）

【収入】

科目	内訳	金額
補助金	豊かな市民活動のまち応援事業	150000 円
事業収入	単発イベント・マルシェ参加費　90,000 円 アートスタジオ会費　480,000 円	570000 円
自己負担金(会費等)		円
その他		円
収入合計	※収入合計=支出合計	720000 円

【支出】

科目	内訳	金額	
		対象外経費	対象経費
報償費	■ 構成員（助成金対象外） 団体スタッフ労賃 単発イベント：8 時間×８回×1,300 円 夏休みイベント：9 時間×1,300 円 マルシェ：10 時間×1 回×1,300 円 アートスタジオ：3 時間×30 回×1,300 円 ■ 外部スタッフ（助成金対象） 外部スタッフ労賃　102900 円 マルシェ補助：1,300 円×3 人×6 時間 イベント補助：1,300 円×1 人×3 時間×5 回 ■イベント講師：10,000 円×4 名 講師準備費：5,000 円×4 名	224900 円	102900 円
旅費交通費		円	円
消耗品費	アートスタジオ：60,000 円 単発イベント：40,000 円 夏休みイベント：50,000 円 アートマルシェ：50,000 円	円	200000 円
食糧費および食材費			
印刷製本費	インク代など	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	SNS 発信・郵送費・連絡ツール利用料	円	5000 円
手数料		円	円
保険料	アートスタジオ	円	10000 円
委託費	チラシ・イベント案内印刷代	円	20000 円
使用料および賃借料	アートスタジオ：5,000 円×12 か月 単発イベント：3,000 円×9 回 マルシェ：10,000 円×1 回 夏休みイベント：10,000 円×1 回	円	104000 円
備品購入費	アートスタジオ設備投資	円	48200 円
小計		224900 円	495100 円
支出合計	※対象外経費+対象経費の合計		720000 円